



椎の木

令和6年5月1日発行 第2号

朝霞市立朝霞第八小学校

〒351-0012 朝霞市栄町5-1-41

TEL:048-465-8381 FAX:048-467-4739

文責：校長 田中 誠

【目指す学校像】教育は子供の未来づくり ～児童に未来を生き抜く力の基礎を育てる学校～

「目には青葉 山ほととぎす 初鰓」

これは、松尾芭蕉と親交の深かったという、江戸時代に活躍した俳人・山口素堂（そどう）の俳句です。現代語に訳すと「目には初夏の青葉がさわやかに映り、耳にはほととぎすのさわやかな声が届き、口では初物の鰓を味わえる素晴らしい季節だ」となります。この句は初夏の爽やかな魅力と楽しみを、ほとんど物の名前を書き連ねているだけでさっぱりと気持ちよく伝えているところが心地よく、多くの人に愛されてきました。新緑のみずみずしさや、山から聞こえてくるほととぎすの声の美しさはもちろんのこと、旬の食べ物である初鰓は、特にこの句を楽しげに彩っているように思えます。



江戸時代に「初物を食べると七十五日長生きできる」という言い伝えがありました。初物とはその年初めて収穫されたもので、初鰓は初夏を知らせるものとして珍重されました。特に初鰓は江戸っ子からの人気が高く、非常に高値であっても競って購入することが粹だとされていたそうです。

昨今はとても便利な世の中になり、口にするものが季節関係なくお店に並ぶようになりました。反面、それは私たちの暮らしの中から「旬」という感性を少しぼやかしてしまっているようにも感じます。本校では、栄養教諭が献立の内容や食材に関わるクイズなどをまとめた「おむすび通信」を給食時に放送しています。「おむすび通信」には旬の食べ物について載せることもあります。子供たちはそれを聞いて感じたことや給食の感想などを「給食レター」に書いてくれているのですが、読んでみると「よく放送を聞いているな」と感心するものが多くあります。「旬」という言葉をおむすび通信を通じて知ったという児童も多いかもしれません。

どんな季節の気配も、本来の私たちの心は、視覚・聴覚・味覚・嗅覚・触覚という「五感」でしっかりと受け止められるようにできているのではないのでしょうか。きっと、季節というのは「感じるもの」なのであらうと思います。

ゴールデンウィークを迎えています。子どもたちには五感を使って、この季節を感じとって欲しいと思います。また、学校生活に慣れたこの頃は、低学年の交通事故が多くなる時期でもありますので、健康や安全に気を付けて過ごすようお声かけをお願いします。

<1年生を迎える会：4月25日（木）>



各学年が趣向を凝らし、1年生に学校生活や学校行事等の紹介をしてくれました。朝顔の種のプレゼントもありました。